

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	2175
平成18年度部名	企画部	課名	広報課	課長名	白井 誠一
平成19年度部名	企画部	課名	広報課	課長名	白井 誠一
事務事業名	ラジオ広報				
予算上の事務事業名	ラジオ広報				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		36110		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第6章 高度情報化への対応を図ります				
基本施策名	第1節 豊かな市民生活を実現する情報化の推進				
施策名	第1施策 情報通信メディアを活用した行政サービスの推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市広聴広報規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		5 事業開始年度	平成8年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
本市の施策・イベント・お知らせを、FM放送局の放送枠を買い取り、放送することにより広く一般に周知する。					市内外のラジオ聴取者(主に県内)
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
FMさがみ 「相模原インフォメーション」 毎日2回、各5分間の放送枠で、市の施策、イベント、お知らせ等を放送。 月～金 午前7:54～ 午後5:54～(再放送) 土・日 午前8:54～ 午前11:54～(再放送)					
FMエコー 「THE BREEZE」内のエリアナビ 市のイベント情報等を番組内コーナーで紹介。 毎月第1・3水曜日 午前9:45～48(3分間)					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	「新聞広告による広報」・・・神奈川新聞を中心に、読売・朝日・毎日・産経・東京新聞や地域紙(武相、相模経済)紙面で 市のイベント等のお知らせを掲載。 また、「ぶらり相模原」として、コラムを神奈川新聞に掲載(通年)。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	7,056	7,056	5,796	5,796	5,796
一般財源	7,056	7,056	5,796	5,796	5,796
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,380	2,365	1,905	1,905	1,905
事業コスト合計	9,436	9,421	7,701	7,701	7,701
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名(主たる事業名)	ラジオ広報			対象名称と単位	放送時間(分)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	9,436	9,421	7,701	7,701	7,701
対象数	3,816	3,806	3,722	3,722	3,732
単位あたり経費(円)	2,473	2,475	2,069	2,069	2,064
前年度比		1.00	0.84	1.00	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	放送時間（分）	指標式と指標の説明	年間放送時間（分）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	3,816.0	3,806.0	3,722.0		
目標	3,816.0	3,806.0	3,722.0	3,722.0	3,732.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	「市政に関する世論調査」市の情報の情報源（％）	指標式と指標の説明	実績：市政に関する世論調査数値（3年毎に実施） 目標値：首都圏ラジオ各局聴取率の合計値（H18平均）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	6.1	6.1	6.3		
目標	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3
目標達成度（％）	83.6	83.6	86.3		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		不特定多数への情報提供において、ラジオは非常に有効な媒体であり、今後も継続する必要があると考えるため「現状維持」とした。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
新聞広告等、他媒体との連携を図り集中的に情報提供を行うことにより、更なる効果を得られる可能性がある。			事業をより有効活用するために、市政情報源としてのラジオ広報の市民認知度を高めていく必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市政情報源として本事業の認知度を高めるとともに、最も効果的な時間・曜日等を検討する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			